

見沼ワークショップニュース

～見沼田圃(新都心東地区)の散策環境向上

のためのワークショップ～

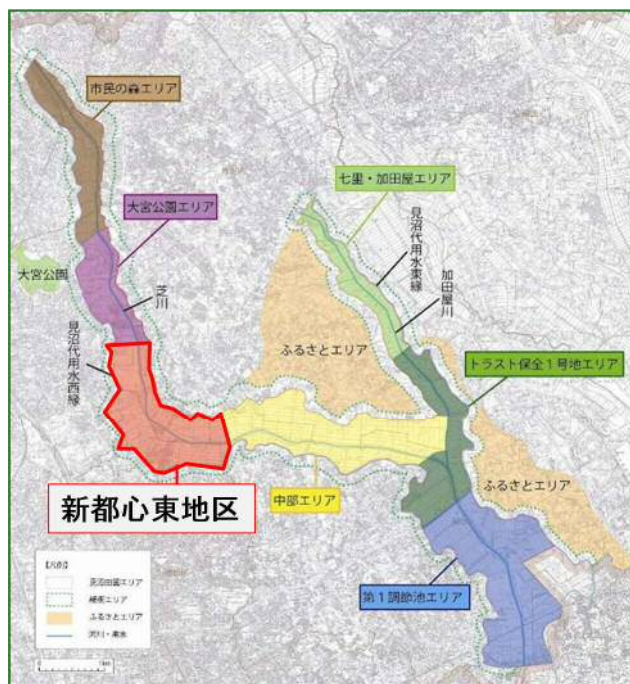
第1回目

第1回ワークショップを開催しました

さいたま市では、7月4日(土)に大宮南部浄化センター(みぬま見聞館)において、「見沼田圃(新都心東地区)の散策環境向上のためのワークショップ」の第1回を開催し、約30名の市民の方にご参加いただきました。

このワークショップでは、見沼田圃の新都心東地区における散策環境を向上するために、さまざまな課題解決に向けて、市民の皆様・市民団体、自治会の方々が主体となって、なにができるか。どんなことがしたいか。について意見を出し合っていただくことを目的としています。

ワークショップは全3回開催し、第1回では、見沼田圃の農業、見沼代用水、地域活動・市民活動について3名の講師の方にご講義いただきました。講義後はグループに分かれ意見交換を行い、散策環境の課題や解決策について、参加者それぞれの立場から、様々な貴重なご意見・アイデア等をいただきました。



次回ワークショップのご案内

日時：9月5日(土)

13:00～(3時間程度)

場所：大宮南部浄化センター

(みぬま見聞館)



①第1回ワークショップの内容

- 1.開会挨拶
- 2.ワークショップ開催趣旨について
- 3.見沼たんぼの農業の現状について
(講師：さいたま市 農業委員会 元会長 島田 喜之 氏)
- 4.見沼代用水について
(講師：見沼代用水土地改良区 企画調整室長 清水 実 氏)
- 5.地域活動、市民活動について
(講師：見沼たんぼ地域ガイドクラブ 代表 大神 國裕 氏)
- 6.新都心東地区の位置づけ、現状・課題について
- 7.課題解決に向けできること(意見交換)
- 8.今後の進め方について

②参加者の意見

【意見交換】

A班

- ・景観を良くすることが、水田を良くすることにつながる
- ・市民のサポートが必要である
- ・斜面林の相続の時に税金がかかる。負担を軽減することはできないのか、行政に要望したい
- ・グループを作って連携していきたい

B班

- ・芝川の不法投棄について考えたい
- ・ビオトープの管理について、自然のままなのか荒地なのかかわからない
- ・管理する団体がいれば大丈夫だが、それが無いところは荒地になってしまっている

C班

- ・地域で残したい景観(上山口、水田、新都心)がある
- ・行政・農業者・市民で話す機会をつくりたい
- ・景観がいつまで続くのか、明日にでも無くなるんじゃないか、という緊張感が足りないと思う

D班

- ・散策するところは代用水沿いである
- ・桜並木の景観は良くなった。手が届いていないところ(点々としたところ)をなくしたい
- ・斜面林のフェンスは市民を守るためのフェンスなのか。「くず」が多すぎるが、フェンスの中は市民が手を加えられない。フェンスの中にもきれいな花がある。中に入ってきれいにしたい

E班

- ・不法投棄が多い
- ・耕作地が放棄されているところは見苦しい
- ・見沼代用水がフェンスに覆われている。ウォーキングをしたりしたいのに、フェンスによって景観が損なわれているのではないか

【アンケート回答】

1) 自然や景観の保全・管理についての課題

- ・展開中の桜街道のほかに「花の道」「果物の道」など植栽を増やす
- ・斜面林の景観保全
- ・上山口新田の景観保全
- ・昆虫の森林公園（飼育・放虫）、生物多様性再現への課題
- ・雑草だらけの未使用地への対策
- ・貴重な資源を生かし切れていない（認知度が低い）
- ・不法投棄などゴミの問題
- ・高速道路下のビオトープの整備
- ・「ヤブカンゾウ」と田園風景をアピールしたい
- ・自然環境と生活環境の調和
- ・回遊ルートの設定など、親水環境を創出したい

2) 農耕地についての課題

- ・農業の後継者不足
- ・農地の環境整備
- ・水田、耕作地、不耕作地の保全管理や埋立地の改善
- ・相続税法の改善

3) その他の課題

- ・地域住民と農業従事者間の意思疎通（理解しあえていない）
- ・エリアが広く、特徴を一つに絞るのが困難
- ・トイレ不足
- ・自動車乗り入れについて
- ・散策する人たちのマナー向上をはかりたい
- ・アクセスが悪い

課題解決に向けてできること、やりたいこと

- ・農家、土地改良区、市民、行政が一緒になって考えたり活動したりすることが大事
- ・各団体が連携して、ブランド米、サクラ、サイクリングコースなどをアピールしたい
- ・市民団体の会員を増やし、活発化したい
- ・実際に歩いて写真に収め、散策ルートを紹介する
- ・地域情報の発信
- ・季節によって、お花畑やそばを植えてそば祭りなど、景観を良くする土地利用をしたい
- ・市民や学生ボランティアなどによるゴミ拾い（少しでも地域活動に貢献したい）
- ・ウォーキングや農業体験を行って広報する。イベントや宣伝で家族や若い世代に紹介する

③第2回ワークショップについて

次回は、グループ分けを行い、各グループで実際に見沼田んぼの見沼代用水沿いを歩き、課題を発見・再確認し、解決に向けた市民の皆様、市民団体、自治会のできることを検討していきます。

（お問い合わせ先）さいたま市 都市局 都市計画部 みどり推進課 見沼田圃政策推進室

電話：048-829-1413 FAX：048-829-1979

E-mail：minumatambo-seisaku@city.saitama.lg.jp